



ピカピカの一年生の入学式

中頓別小学校の入学式が、4月6日に中頓別小学校体育館で行われました。担任の山本先生は、12名の新入学生の名を読み上げ、新一年生達は元気に「ハイ」と返事をしていました。



第七期総合計画の確実な実施と 定住自立圏の連携強化をめざします



本年度の町政執行への基本的な考え方や重点的な施策を申し述べ、町民の皆さんのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

国は、予算編成にあたって地方公共団体に対して、厳しい財政状況と税・財政制度上の対応を見通し、簡潔で効率的な行財政システムを構築し、行財政運営について透明性を高め、公共

サービスの質の向上に努めるなど、行財政改革に取り組むことを求めています。本町においては、町税等の自主財源が大変

少なく、且つ、三位一体改革で地方交付税が大幅に削減されたことから赤字団体に転落する危機に陥り、平成17年度に町民の方々の協力により策定をいただいた「中・長期行財政運営計画」や財政健全化のための「公債費負担適正化計画」を基本に、町民の協力をいただきながら今まで行財政運営を続けてまいりました。その結果、財政健全化法による健全化判断比率の指標の一つである「実質公債費比率」が早期健全化基準を下回り、財政健全化団体から脱却をいたしました。収入に占める公債費が依然として高い水準にあることから、本年度も行政管理経費や町債等の抑制に取り組みながら、

町民の皆さんが中頓別町に住むことを誇れる町にするため「第七期総合計画」の確実な実施や「定住自立圏」による中心市及び周辺町村との連携を図りつつ、定住のために必要な生活機能を確保してまいります。

以下、重点的な施策について申し述べてまいります。

1 環境の保全と創造 (自然環境の保全と環境にやさしいまちとくらしづくり)

昨年3月に策定した環境基本計画は、新たな総合計画において重要な政策として位置付けされており、今後、地域の誇りでもある自然環境を大切に守っていくことを基本に、環境の保全と創造に関する取組みを積極的に進めてまいります。

近年、エゾシカの急増により交通事故や農林業被害が拡大しており、また、外来生物であるアライグマによる被害も出始めていることから、捕獲体制の強化と残滓処分施設の整備が必要



となっており、昨年度、試験的に実施したエゾシカ一斉駆除を定着させるとともに、狩猟免許取得者に対する支援を行い、高齢化・減少傾向にある狩猟免許者の新たな担い手の確保に努めてまいります。

残滓処分施設については、南宗谷地域における施設整備に向けた検討を協議してまいります。

2 産業振興・地域経済の活性化と社会資本の整備 (農業を基本に据えた活力ある産業の創造)

本町の基幹産業である酪農は、草地型酪農に移行してから40年以上が経過し、農業経営者の高齢化や後継者不足、花嫁不足などにより酪農が続き、前途は極めて厳しい状況にあります。一方では規模拡大も進み労働力不足も叫ばれています。

そのため、良質粗飼料の生産やコスト低減、経営体質の合理化等を進めるため、コントラクター・TMRセンター・堆肥セ

ンター等の利用組合が設立され、農作業の効率化や労働力不足の解消が図られるとともに、酪農家の生活向上と魅力ある酪農の実現のために、酪農ヘルパー利用組合等の組織に対する運営の支援や本年度も規模拡大を図る農業者に対する支援を行ってまいります。また、耕作放棄地の発生防止と集落の多面的機能の確保を図るため、中山間地域等直接支払制度交付金事業も継続してまいります。

昨年度は、1戸の新規就農の参加が実現しましたが、基幹産業でもある酪農家を1戸でも減らさないため、本年度も今後の第三者継承の実現に向けて農業関係機関と連携を深め具体的な取組みを進めてまいります。

本町の森林は、

平成 24 年度中頓別町各会計予算 (単位：千円)

会 計 別	年度別	平成 24 年度予算額	平成 23 年度予算額	比 較	
				金 額	率 (%)
一 般 会 計		2,832,517	2,834,986	▲ 2,469	▲0.1
自動車学校事業特別会計		30,259	28,402	1,857	6.5
国民健康保険事業特別会計		310,677	319,549	▲ 8,872	▲2.8
国民健康保険病院	収 入	487,323	502,120	▲14,797	▲2.9
事 業 会 計	支 出	43,679	43,225	454	1.1
水道事業特別会計		80,177	78,045	2,132	2.7
下水道事業特別会計		98,378	101,508	▲ 3,130	▲3.1
介護保険事業特別会計		191,923	191,529	394	0.2
後期高齢者医療事業特別会計		29,495	26,370	3,125	11.9
合計		4,104,428	4,125,734	▲21,306	▲0.5

来るべき国産材時代に備え、活力ある林業を実現するため大切に育成されて来ました。しかしながら、輸入材の増大や経営コストの増嵩、景気の低迷が続くなど採算性が低下し森林所有者の経営意欲の減退を招いて、間伐や枝打ちなど適正な保育作業が進まない状況にあります。

森林は、環境保全や水資源のかん養など多面的な機能を有し



ており、計画的な整備が必要であります。このため、町有林の計画的な施業や民有林の無立木地解消や育林への支援を継続するとともに、経営コストの低減を図るため、計画的な林道や作業道の整備に努めます。また、本年度から森林所有者の届出が義務化されることから、森林の現況を把握し適切な施業の助言や情報を提供してまいります。

商工業の振興では、商工会の運営費補助、中小企業振興資金融資事業を継続するとともに、必要な公共事業の確保を図り雇用創出に努めてまいります。

観光の振興では、鍾乳洞、ピンネシリ温泉、山村交流施設の指定管理者との協定が更新され今後4年間の管理運営にあたって頂くことになりました。いずれも本町観光の中核施設であることから、今までの経験や民間事業者として持っているノウハウを活かし効率的、効果的な運営と利用者へのサービス向上に努めていただきます。

一昨年から鍾乳洞を核としたジオツーリズムによる振興策を検討してきていますが、昨年度は基本構想をまとめ、将来に向け可能性を見いだしてきたところです。本年度はこれをさらに進め、地域の魅力を発信するためのストーリーづくりやそれを伝えるガイドの育成とともに、ジオツーリズム推進のための組織づくり、整備計画と運営計画の検討に取り組んでまいります。

移住定住促進事業では、より長期の滞在や交流を創出していくけるよう、関係団体などと連携して取り組んでまいります。

（快適にくらすことができる生活環境の整備）

町民のゆとりや豊かさを実感できる暮らしを支えていくため、本年度も町道の整備をはじめ、老朽化した町営住宅の解体、水道本管の一部改修や持ち家に対する助成制度を継続してまいります。

また、橋梁の安全性の向上と

長寿命化を図るため、本年度から2ヶ年で橋梁の点検と長寿命化修繕計画を策定してまいります。

3 保健医療福祉の充実と安全安心なくらしの保障

（誰もが健康で安心してくらすことができる保健・医療・福祉の充実）

障害者自立支援法に基づき、知的障害者更生施設天北厚生園は新体系に移行し、プライバシーと安全が確保された新施設で本格的なスタートを切りました。今後は、「第3期障がい福祉計画」に沿って、地域生活が促進されるよう配慮してまいります。

町民の食生活の変化に伴い生活習慣病の割合が増加しており、心疾患、脳疾患の危険因子となる糖尿病、高血圧などの疾病の重症化や、合併症への進行の予防のため、特定健康診査の未受診者に対する個別勧奨に取り組むとともに、本年度も昨年に続き30歳代の町民に対し健診料金



を助成し、健康診査の負担軽減と健診率の向上に努めてまいります。

各種がん検診について本年度も一定年齢の方に無料クーポン券を活用した個別勧奨に取り組み、疾病の早期発見と早期治療を促進し、子宮頸がん、インフルエンザ菌b型、小児用肺炎球菌、インフルエンザ、肺炎球菌など町民に対する感染予防対策として、予防接種費用に対し本年度も引き続き助成をしてまいります。

幼児から中学生までの医療費無料化の継続と75歳以上の後期高齢者に対しては、本年度も引き続き医療費に対する経費の一部をお見舞い金として助成し、医療費の負担を軽減し地域で安心して暮らすことができるよう支援してまいります。

また、年々高齢化が進み、老人世帯等が増加しておりますので、「第5期老人保健福祉・介護保険事業計画」に沿って、これまで実施してきました高齢者

無料バス乗車券の交付、除雪サービス、福祉ハイヤー、温泉入浴に対する補助や緊急通報システムの設置を継続してまいります。

病院としての機能を確保するため、旭川医科大学の協力をいただき、本年度も外科、整形外科、神経内科の医師派遣を受けて、患者の診療に当たるとともに、小頓別方面の週2回の患者送迎車の運行並びに週1回の一般往診を継続してまいります。

なお、院長1名体制が続いており、関係機関や人材会社を通して常勤医2名体制の早期実現に向けて努力をしてまいります。

（安全安心な町民生活を支える体制、対策の確立）

本町は、災害弱者と言われる独居老人世帯や高齢者世帯が多くなっており、住民の暮らしの安全を守るために、火災予防啓発活動や救急救命士の資質の向上を図り、救急救命体制の確立を推進してまいります。

また、電波法に基づく現在のアナログ方式の消防救急無線の使用期限が平成28年5月31日までと定まっていることから、本年度はデジタル化に向けた基本設計に取り組んでまいります。

いつ如何なる災害に遭遇するのかが予想できるものではありませんが、近年、台風や集中豪雨により甚大な被害が全国各地で見られることから、集中豪雨への対応について、関係機関と密接に協議を進めながら、防災訓練の実施を計画してまいります。

町民の皆さんの尊い命を交通事故の犠牲にしないため交通安全運動の啓発活動を地域生活安全協会や関係機関と連携し推進してまいります。また、防犯活動でも子ども達やお年寄りを中心に町民が犯罪に巻き込まれないよう、警察など関係機関としっかりと連携し取り組んでまいります。

消費生活行政では、広域的な



連携で町民に身近な相談窓口を設置し被害を受けた場合等に備えるとともに、日頃から振り込め詐欺や催眠商法等による消費者被害にあわないための啓発事業に取り組んでまいります。

4 子育て支援、教育の充実 (健やかでこころ豊かな子ども を育てる環境づくり)

教育を取り巻く環境が大きく変化する中、これからの社会を担う子どもたちが自立し、ともに支え合う共生の精神を持つて、より良い社会を築こうとする意欲を育むことが重要であります。

このため、「確かな学力」と「規範意識」を高め、心身ともに健やかに成長することができるよう幼児教育と学校教育を一体ととらえ、健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくりを推進してまいります。

(生きがいとまちづくりを支える 社会教育の推進)

町民一人ひとりが豊かな人生

を送ることができるよう、年代にあった社会教育の推進を図るとともに、健康で充実した生活を送るために、体力の向上や健康増進につながるスポーツ教室をはじめ、各種スポーツ大会を実施するほか、各種スポーツ団体の活動を支援するとともに、心豊かな地域社会を目指した芸術文化活動の推進等で教育委員会と連携を図り、教育の充実に努めてまいります。

5 町民主役の町政推進 (情報の共有と町民参加による まちづくりの推進)

地方分権改革による基礎自治体への権限移譲によって、今までの以上に自らの責任において行政を展開していく事が必要となることを踏まえ、今後、より一層職員のパフォーマンスを向上を図るため積極的な研修参加と職員の意識改革に努めてまいります。

(創造的な自治体改革の推進)

大変厳しい財政状況を表す「財政健全化判断基準」の一つである「実質公債費比率」において、懸案でありました早期健全化基準値25%を平成22年度決算において下回り、平成23年度決算では18%台となることが確実な状況にあります。しかし、「東日本大震災」により国における財政状況も一層厳しく、町財政に大きな影響を与える地方交付税が今後どのように推移するのか見通しができない現状であり、本年度も経常的経費の抑制や「公債費負担適正化計画」の強力な推進を図り、本年度決算において実質公債費比率を16%台とする目標を持って財政運営を行ってまいります。また、本年度スタートする「第7期総合計画」を基本として各種政策を計画的に実施してまいります。貴重な自主財源である町税の正確な収納状況の把握や事務の効率化を図るため「町税収納システム」の導入を図ってまいります。

健やかでこころ豊かなこどもを

育てる環境づくりをめざします



中頓別町教育委員会の所管行政に関わる主要な方針について申し上げます。

今日、我が国においては、情報化、少子高齢化の伸展、各方面でのグローバル化、産業構造の変化、景気の低迷など、様々

な問題を抱えております。

教育におきましても、地域による学力格差の問題やいじめの問題など多くの課題を抱えております。

また、社会情勢の悪化に伴う教育環境の格差についても懸念されており、これからの時代を担う子どもたちに「生きる力」をさらに育むために、地域社会との連携・協力を強め、地域ぐるみで子どもたちの規範意識を醸成することが求められております。

そのため、学校及び家庭、地域社会がそれぞれの持つ役割と機能を十分発揮し、連携・協力しながら地域に根ざした教育活動が推進されるよう努めてまい

ります。

また、町民の皆さんが充実した生涯を送ることができるよう、中頓別町の豊かな自然や文化、地域の特色を活かした多様な学習機会の提供や学習環境を整備し、学びのきっかけづくりや地域社会へ参加できる生涯学習社会の推進に努めてまいります。

中頓別町教育委員会としても、誰もが「住んでよかった、いつまでも住み続けることのできる」まちづくりの一端を担うよう努力してまいります。

次に、主な施策について申し上げます。

健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり

（子育て支援と幼児教育の充実）

家庭・学校・こども園・地域の関係機関と連携し、地域全体で子育てを支える環境づくりに



努めてまいります。

中頓別町認定こども園は、小学校就学前の子どもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を行う重要な機能を果たしており、幼児・保護者・職員との信頼関係を基に子ども一人ひとりが健康やかに成長できる環境の整備に努めてまいります。

また、昨年度策定した「中頓別町認定こども園と中頓別町小学校との円滑な連携・接続に向けた取り組み方針」に基づき、「認定こども園」から「小学校」へ、さらには「小学校」から「中学校」へと中頓別町の子どもの教育が連携・接続されるよう、関係機関との連携・協力体制の充実に努めてまいります。

少年教育の推進につきましては、次代を担う少年のスポーツや文化活動などの推進を図るため、子ども会やスポーツ少年団、あいさつ子育て推進協議会、生

徒指導連絡協議会など各団体の自主的活動を尊重し継続して支援してまいります。

学校・家庭・地域の連携による教育支援活動の推進につきましては、本年度も引き続き地域コーディネーターを配置し、地域住民の参画、協力、支援をいただきながら「学校支援地域本部事業」、「放課後子ども教室事業」、「家庭教育支援事業」の充実に努めてまいります。

（学校教育の充実）

本年度から小学校に引続き、中学校においても新しい学習指導要領が本格実施となり、理数教育の充実や武道の必修化などにより授業時数や指導内容が増加することから、それらを支える教育条件の整備に努めてまいります。

また、各学校では創意工夫と新学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた教育課程の編成や、そ

れぞれの学校の教育目標に沿って魅力ある学校づくりに努めてまいります。

確かな学力の育成につきましては、学習意欲を基盤とした基礎的・基本的な知識と技能を習得し、それらを活用して様々な問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力などの能力を育むことが求められております。

そのため、これまでの「全国学力・学習状況調査」で得た課題から学習指導のあり方や児童生徒の生活習慣、学習習慣の改善に向けた取り組みに努めてまいりました。

本年度も引き続き学習意欲を高める授業の工夫や中頓別町・小中連携委員会が作成した「家庭学習の手引き」を活用した家庭学習の取り組みなどを通して、家庭と連携・協力を図りながら学習意欲、学習習慣の向上に努めてまいります。



また、指導方法工夫改善のための教職員定数加配による教職員の確保や教育支援員の配置、中頓別町教育研究会や各種教職員研修などを支援し、きめ細かな指導の充実に努めてまいります。

豊かな心の育成につきましては、命の大切さや思いやりの心など豊かな人間性、社会性を子どもたちに育むため、道徳の時間を要として、教育活動全体を通じて「心の教育」をさらに充実するよう努めてまいります。

また、いじめの防止に向けては、調査やアンケートを活用して未然防止、早期発見、早期対応するなど、きめ細く実態を把握するとともに、認知したいじめをいち早く解消するよう努めてまいります。

健やかな身体の育成につきましては、学校体育や行事などを通しての体力の向上とともに、家庭や地域、各団体と連携を図りながら健康への意識や安全へ

の意識の醸成など望ましい生活習慣の向上のために、それぞれの役割を担いながら健康教育の充実に努めてまいります。

信頼される学校づくりの推進につきましては、学校行事を積極的に公開したり、学校だけでなく学校教育活動の情報を提供するとともに、学校評議員の意見提言を教育実践や学校経営に活かすなど、学校、家庭、地域がともに学校運営への連携を促進し、地域に支えられ開かれた信頼される学校づくりに努めてまいります。

また、児童・生徒の安全を確保するために、地域と連携・協力した防犯教育や防災・減災教育など、安全学習や危機管理体制の充実に努めてまいります。

支援教育については、すべての子どもに対して子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに対応した校内体制の充実を図るとともに、関係機関と横断的に連携

し、継続的、総合的に支援教育に対する共通理解を深め組織的な支援体制の充実が図られるよう努めてまいります。

教育環境の整備につきましては、教職員住宅2棟の建設や校舎内の修繕、図書購入をはじめ教材備品の整備を行うなど児童生徒が快適な学校生活を営めるよう、適切な教育環境の整備・充実に努めてまいります。

生きがいとまちづくりを支える 社会教育の推進 (社会教育の充実)

町民の皆さんが充実した生活を送るため生涯を通じて豊かに学ぶ環境を整備し、学んだ成果をまちづくりに活かすことのできる社会を目指しそれぞれのライフステージに応じた多様な学習機会の提供に努めてまいります。

青年・女性・高齢者教育につ



自主的な活動への支援とその学習活動の活性化に努めてまいります。

読書活動につきましては、中頓別町子どもの読書プランを基に子どもたちを中心にすべての町民の皆さんが自主的に読書活動を行うことができる環境整備や蔵書の充実に努めるとともに、こども館や学校への移動図書活動を継続してまいります。また、本の読み聞かせ活動など、本を活かした学習活動に協力をいただいているボランティア団体への活動支援も継続してまいります。

社会教育・体育施設につきましては、社会教育・体育活動の場として有効に活用できるように施設の適切な維持管理をはじめ、指定管理者や関係団体との連携を充分に図りながら多くの町民の皆さんに利用していただけるよう努めてまいります。

生涯学習の推進につきましては、「中頓別町まちづくり生涯学習推進計画」に基づき、地域にあるものを活かし、町民の皆さんが一人ひとりの生涯にわたる学習を推進するため各種事業の充実に努めてまいります。

（社会体育の充実）

スポーツを愛し、豊かなまちづくりをめざす、本町の「生きいきスポーツ宣言の町」の趣旨に沿って、町民の皆さん一人ひとりがスポーツに対する関心を高め、体力・健康づくりやスポーツに親しむ環境づくりのために、スポーツ推進委員や関係機関と連携・協力のもとスポーツの普及・推進に努めるとともに、地域の指導者やボランティアの皆さんの協力をいただきながら各種スポーツ教室や大会を開催してまいります。

また、スポーツ活動を支えるためには、指導者の育成と確保

が必要不可欠であることから、より一層、スポーツ推進委員をはじめ、スポーツ少年団などの関係者と連携のうえ、指導者の育成に取り組んでまいります。

（地域文化の振興と文化財の保護）

地域文化の振興につきましては、町民の皆さん一人ひとりが心豊かに潤いのある生活を送るために、文化芸術活動に触れる機会の提供に努めてまいります。

また、幼児、小学生、中学生の豊かな感性を育む芸術鑑賞事業を引き続き実施し、保護者や地域の皆さんとともに鑑賞できるように事業を実施してまいります。文化財の保護につきましては、中頓別鍾乳洞をはじめとする町の長い歴史や風土の中で育まれ、継承された文化財は、町の歴史を伝える財産として保護、伝承、活用に努めてまいります。

後期高齢者医療制度のお知らせ

～保険料率の見直しについて～

■ 保険料率が変わりました

被保険者の皆さまにお支払いいただく保険料は、2年ごとに保険料率を見直すこととなっています。
平成24・25年度の新しい保険料率は、次のとおりです。

● 均等割 (被保険者が等しく負担)	平成22・23年度 (年額) 44,192円	⇒	平成24・25年度 (年額) 47,709円 (3,517円増)
● 所得割 (被保険者の所得に応じて負担)	平成22・23年度 10.28%	⇒	平成24・25年度 10.61% (0.33ポイント増)
● 賦課限度額 (1年間の保険料の上限度額)	平成22・23年度 50万円	⇒	平成24・25年度 55万円 (5万円増)

■ 保険料の計算方法 (平成24年度)

保険料額は、被保険者が等しく負担する「均等割額」と、所得に応じて負担する「所得割額」の合計で計算します。

均等割 【1人当たりの額】 47,709円	+	所得割 【被保険者本人の所得に応じた額】 (平成23年中の所得－33万円) × 10.61%	=	1年間の保険料 (100円未満切捨て)
-----------------------------	---	--	---	------------------------

● 年度の途中で加入したときは、加入した月からの月割で計算します。

平成24年度の保険料額は、7月に個別にお知らせします。

■ 保険料の軽減について

次の①～③に当てはまる被保険者の方は、保険料が軽減されます。(軽減の内容は、平成23年度までと変更ありません。)

① 均等割の軽減

世帯の所得に応じて、4段階の軽減があります。

所得が次の金額以下の世帯	軽減割合	⇒	平成24年度	前年度比
33万円かつ被保険者全員が所得0円 (年金収入のみの場合、受給額80万円以下)	9割軽減	⇒	4,770円	約300円増
33万円	8.5割軽減	⇒	7,156円	約500円増
33万円＋(24万5千円×世帯主以外の被保険者数) ※単身世帯の方は該当しません	5割軽減	⇒	23,854円	約1,800円増
33万円＋(35万円×世帯の被保険者数)	2割軽減	⇒	38,167円	約2,800円増

- 軽減は、被保険者と世帯主の所得の合計で判定します。
- 被保険者ではない世帯主の所得も判定の対象となります。

② 所得割の軽減

被保険者個人の所得で判定します。

所得が次の金額以下の方	軽減割合
所得から33万円を引いた額が58万円以下の方	5割軽減

③ 被用者保険の被扶養者だった方の軽減

この制度に加入したときに被用者保険（主にサラリーマンの方が加入している健康保険）の被扶養者だった方は、所得割はかからず、均等割が9割軽減になります。

■ 年間保険料額の例

● 単身世帯(世帯主)の場合

年金収入	均等割軽減	所得割軽減	平成24年度	前年度比
80万円	9割	—	4,700円	300円増
153万円	8.5割	—	7,100円	500円増
168万円	8.5割	5割	15,100円	800円増
180万円	2割	5割	52,400円	3,200円増
211万円	—	5割	78,400円	4,400円増
250万円	—	—	150,600円	6,700円増

● 夫婦2人世帯(共に被保険者)で、妻の年金収入が80万円以下の場合

年金収入	区分	均等割軽減	所得割軽減	平成24年度	前年度比
80万円	夫	9割	—	4,700円	300円増
	妻	9割	—	4,700円	300円増
153万円	夫	8.5割	—	7,100円	500円増
	妻	8.5割	—	7,100円	500円増
168万円	夫	8.5割	5割	15,100円	800円増
	妻	8.5割	5割	15,100円	800円増
180万円	夫	5割	5割	38,100円	2,200円増
	妻	5割	5割	23,800円	1,800円増
211万円	夫	2割	5割	68,900円	3,800円増
	妻	2割	—	38,100円	2,800円増
250万円	夫	—	—	150,600円	6,700円増
	妻	—	—	47,700円	3,600円増

お問合せ先

北海道後期高齢者医療広域連合
〒060-0062 札幌市中央区南2条西14丁目 国保会館6階
電話 011-290-5601

中頓別町 介護福祉センター内
保健福祉課保健福祉グループ
電話 6-1995

絵本の魅力を学びました

読み聞かせ講習会



町教委では、絵本の読み聞かせを推進するため、3月23日、国学院大学北海道短期大学部准教授 松村澄江氏を講師に迎え、絵本の読み聞かせ講習会を開催。

絵本の魅力をテーマに講演され、「絵本」とはどのようなものか、こども達は大人が考えている以上にナンセンスやユーモアが好きという話など絵本の読み聞かせの基本について学んでいました。

これからは、小学生

こども園卒園式

認定こども園では、3月30日に卒園式が行われ、12名のこども達が卒園しました。

こども達は馴れない式典に緊張しながらも、名前を呼ばれると元気な声で応え、卒園証書を受取っていました。

4月からは、ピカピカの大きなランドセルを背負って小学校に通います。交通事故等に遭わないように、地域で見守ってあげたいですね。



子育てを考える

家庭教育講演会

町教委では3月24日、教育大学旭川校附属旭川幼稚園 馬場信明氏を招き「今、大切にしたい子育てを考える」をテーマに幼稚園や保育所での学びと小学校での学びの違いについて講演会を開催しました。

焼き芋体験、餅つき、うさぎの飼育活動など実践事例を用いて「子育てはこどもの土台を育てること、こどもの心の安定が大切。」と締めくくっていました。



酪農家として頑張ります

新規就農者第1号の村田さん

中頓別町での酪農経営を夢見て、平成22年4月から研修を受けていた村田克明さん（神奈川県出身）が念願叶って、昨年11月に上駒地区で酪農経営を始めました。3月27日、町長から中頓別町新規就農者誘致特別措置条例に基づき、奨励金と自立安定補助金が手渡され、村田さんは「実際農業を始めて研修の時と違って大変なことがあります。が、頑張ります。」と決意を述べていました。



最後の校歌を熱唱

中頓別小学校卒業式

中頓別小学校の卒業式が3月18日に執り行われ、真新しい制服に身を包んだ15名の卒業生たちは在校生や父母の見守る中、卒業証書を受取りました。

緊張したおももちで一人ひとり誓いの言葉を述べ、6年間通い続けた学び舎で思い出を懐かしみながら、小学校最後になる校歌を在校生と一緒に歌いました。

中学校に行っても、元気に学習にスポーツに頑張ってほしいですね。



永年の労苦に感謝状

平成24年度自治記念式

中頓別町自治記念式が4月1日に役場会議室で行われ、藤井隆氏、西一彦氏、故藤田首健氏が表彰されました。

藤井氏は、3期12年にわたり公平委員会委員長として町の人事行政の振興に寄与されました。西氏は、町代表監査委員として8年にわたり監査行政の振興に寄与されました。

故藤田氏は、町議会議員及び副議長として本町の自治振興に寄与されたことがこの度の表彰につながりました。



4月1日付け人事異動

総務課長 和田行雄（議事事務局局長）、まちづくり推進課長 遠藤義一（総務課長兼総務課住民グループ長）、保健福祉課長 小林生吉（まちづくり推進課長兼まちづくり推進グループ長兼教育委員会参事）、会計管理者 小林嘉仁（産業建設課参事兼農業委員会事務局局長）、産業建設課参事 石川篤（保健福祉課長兼地域包括支援センター長）、議会事務局 長 高井秀一（会計管理者）、総務課主幹兼住民グループ長 神成和弘（総務課主幹兼総務グループ長）、総務課主幹兼総務グループ長 藤井富子（教育委員会教育グループ長）、まちづくり推進課まちづくり推進グループ主査 千葉靖宏（産業建設課建設グループ主査）、中頓別町教育委員会主査 永田剛（総務課住民グループ主査）、中頓別町教育委員会主査 相馬正志（まちづくり推進課まち

づくり推進グループ主任）、まちづくり推進課まちづくり推進グループ主査 笹原等（教育委員会教育グループ主任）、総務課住民グループ主査 庵日鶴（総務課住民グループ主任）、産業建設課建設グループ主査 工藤正勝（まちづくり推進課まちづくり推進グループ主査）、保健福祉課保健福祉グループ栄養士 市本美由紀（国民健康保険病院栄養士）、国民健康保険病院栄養士 八木千晶（保健福祉課保健福祉グループ栄養士）

新規採用

南宗谷消防組合派遣 佐藤将司、国民健康保健病院看護師 十亀百合子

3月31日付け人事異動（退職）

高井水脈子（総務課住民グループ主査）、山口節子（町国保病院 准看護師）

活動の広場

く集いをとおしてく

☆町民スノーフェスティバルを 開催しました。

3月4日、寿スキー場を会場に町民スノーフェスティバルを実施しました。

大回転競技には、小学生23名、一般から17名、スノーボードに2名の合計42名の方々が参加し、今シーズンの練習成果を試す機会になりました。

今年度は、健康づくりや自然散策をテーマに歩くスキーを行い、14名の方々が参加しました。遊びの広場では、大会に参加した皆さんは、思い思いにチュービング滑りを楽しんでいました。

レクリエーションでは、本大会の顧問の皆さんに、もちまきのご協力をいただきました。午後



からは、中頓別スキー協会の皆様の協力によって、スキー教室を開催しました。

なお、中頓別農業協同組合様から牛乳を提供していただき、本大会の開催にあたって、多くの競技役員の皆様のご協力により、スノーフェスティバルを開催することができましたことに深く感謝を申し上げます。

☆スポーツ少年団本部解団式を 行いました

3月20日、町民センターを会場に、中頓別町スポーツ少年団本部解団式を実施しました。はじめに、各少年団（野球、剣道、柔道、卓球）の代表に修了証が手渡されました。その後、各代表から1年間の活動が報告され、日頃の練習や大会での思い出などを元気よく発表し、今年度で活動を終了した小学校6年生の子どもたちに、努力賞として記念品が手渡されました。



☆室内ゲートボール大会を開催 しました。

3月27日、町体育館を会場に、教育長杯室内ゲートボール大会を開催しました。

3チーム15名の参加者の皆さんは、日頃の練習の成果を発揮し、「大会となると緊張感があります。」と話しながら、はつらつとしたプレーで寒さを吹き飛ばしました。

☆大会結果

優勝 十亀チーム、準優勝 佐々木チーム、第3位 藤倉チーム



図書室だより

『カウンターからの風景』

四月は引越しの季節です。図書室を利用者さんの中にも、この町を離れる方が多数います。引越しが決まり、図書室にもわざわざご挨拶にきていただき、嬉しいのと同時に、大変淋しくなりました。

引越し先でも、たくさん本を読んで欲しいと思いました

『この本大好き』

内藤健太郎 くん（2歳）
「のりもの図鑑 工事の本」

著…小賀野 実 ポプラ社
・とにかく働く車が大好き！
本で覚えた車ごっこをして、よく遊んでいます。（お母さん談）



■注目の新着本

（一般書）

『聞く力』

著：阿川 佐和子
文藝春秋

頑固オヤジから普通の小学生まで、つい本音を語ってしまうのはなぜか。
インタビューが苦手だったアガワが、1000人ちかい出会い、30回以上のお見合いで掴んだコミュニケーション術を初めて披露する。



（児童書）

『ようちえんいやや』

著：長谷川 義史 童心社

新入学の季節です。
こんな子いないかな？
幼稚園が大好きになる1冊。



『このゆびと〜まれ♪』の活動』

読み聞かせボランティアサークル「このゆびと〜まれ♪」では、毎月、小学校に出向き、休み時間を利用して読み聞かせを行っています。

3月8日（水）「マリールイズいえでする」、「おかあさんのパンツ」読み聞かせを行いました。

※「おかあさんのパンツ」が大変好評で、子ども達は色々と予想して答えていました。

※読み聞かせボランティアをしてくださる方を募集しています。興味がある方は、図書室まで連絡して下さい。

■今月の新着図書（3月28日現在）

一般向け図書

『共喰い』	田中 慎弥
『道化師の蝶』	円城 塔
『父・金正日と私』	五味 洋治
『幻影の星』	白石 一文
『下山の思想』	五木 寛之
『鍵のかかった部屋』	貴志 祐介
『幸福な生活』	百田 尚樹

児童向け図書

『おしゃべりさん』	さいとうし のぶ
『ぼくはブルドーザー』	三浦 太郎
『みんなで！いえをたてる』	竹下 文子
『げんきの図鑑』	中村 裕
『のりもの図鑑 新幹線』	小賀野 実
『おねしょのせんせい』	正道 かほる
『あたみがコンガらガっち劇場』	ユーフラテス

※その他、多数の新着図書があります。
どうぞ、ご来室下さい。

昨年、みなさんは健康診査を

受診されましたか

「特定健診（メタボ健診）」はもうお馴染みになったでしょうか。

この特定健診の大きな目的は健診をきっかけとして多くの方にご自身の身体の状態を知っていただき生活習慣病を予防する「ことにあります。みなさんの昨年の身体の状態はいかがでしたか？

●今年度は

ひとつの区切りの時期

平成20年に医療保険制度が変わってから4年が過ぎ、今年度はいままでの健診状況や医療状況などをまとめる時期になります。

平成22年度の国民健康保険に加入している人の中で特定健診

対象者（40～74歳）は426人いましたが、受診した方は150人で受診率は35・2%でした。

保健センターで行なわれる特定健診を受診した方は116人、その他「かかりつけの病院で定期的に行なっている検査」を受けていて、その結果をお持ちいただいた方が34人いました。

国の健診受診率の目標が65%となっていて、中頓別の22年度の受診率は目標の半分強という状況です。

受診率など国の定めた目標が達成できない場合、0～74歳の方の保険料が上がる恐れがあります。もちろん受診率が問題ではありませんが、みなさんに自分の健康を知る機会として健診を受けていただけ、さらにみなさんに負担いただく保険料が上



がらないために、今年度は多くの方に健診をお勧めさせていただく計画です。

●平成22年5月の病院の

受診状況を見てみると

国民健康保険に加入している人（0～74歳）は642人いましたが、そのうち高血圧や脂質異常、糖尿病などの生活習慣病で治療を受けた人は277人（43・1%）で、前年度と比べるとちよつと増えていました。

もつとも多く治療をされていたのは高血圧症で212人（76・5%）、ついで中性脂肪やLDLコレステロール・HDLコレステロールなどの脂質異常

症で149人（53・8%）、糖尿病で96人（34・7%）となっています。

治療をしている人の年齢をみると、どの病気も30歳代からです。

それぞれの内訳を見てみると血圧は40代になると3割の人が、50代以降は7～8割の人が治療をしています。

脂質異常症は40代が一番多く6割、50代以降は4～5割程度です。ホルモンが大きく関係していると言われているので、女性に関しては60代以降6～7割と多くなります。

糖尿病は50代以降3～4割ですが、50代からは糖尿病が原因といわれている細い血管への影響が現れている方も1～3割ほどいらつしやいます。治療をされている方は、ぜひ、「調子がいいから・・・」と通院や薬を飲むことを自己判断で止めたりせず、主治医としつかり相談しながら悪化させないようにしていきたいですね。

●若い方にも、ぜひ！
受けて欲しい健診です

町ではなかなか健診を受ける機会のない30代の方に健診を受けて欲しいとの思いから、加入している保険にかかわらず健診料の一部助成を行っています。

平成23年度は11名の方にこの助成を利用し健診を受けていただきました。多くの方はまだまだ元気で病院とは縁遠いと思いますが、生活習慣病は生活習慣が大きく影響しているといわれています。

若い頃の生活がその後につながっていきます。いつまでも自分らしく生活していくためのひとつとして、この健診を活用していただけたらと思っています。

農協関係の方は4月26～27日に、それ以外の方は5月・9月に健診があります。ぜひ、一年の予定に加えていただければと思います。

今月のおすすめ料理

～6町内 佐藤 恵さん～

蒸し鶏のミニスティック春巻きの作り方

- ① 鶏肉は耐熱容器に入れ酒と塩を振りラップをかけて、レンジで約2分加熱し、冷めたら手で細かくさく。
- ② 青じそはみじん切りにし、梅干しは種を取って細かく叩き①の肉と合わせる。
- ③ 春巻きの皮は1枚を4等分にする。②を棒状にのせ水で溶いた小麦粉を皮のはしに塗って巻く。
- ④ アルミホイルに油を薄く塗り③を並べて、トースターで5分位こんがりと焼く。

※具は、青じそ・鶏肉・チーズに変えても美味しいです。

材 料

□春巻きの皮	3枚
□鶏胸肉	1/2枚
□青じそ	3枚
□梅干し	1個
□酒・塩・小麦粉・サラダ油	各少々



トースターで焼く、油で揚げないパリパリの「蒸し鶏のミニスティック春巻き」の紹介です。

春巻きは普通、具を炒めて調味して冷まし、それから皮で包んで油で揚げするため、手間がかかってしまいます。

今回は、食べたい時にすぐ作れてとっても簡単、油で揚げないのでカロリーも大幅にカットの春巻きです。

具は入れすぎるとしょっぱくなるので入れすぎないようにするのがポイント。具材はミートソースとチーズの組み合わせなど色々なバリエーションを楽しみながら、こどものおやつや、お酒のおつまみにもよいそうです。さっそく試してみませんか。

管理栄養士 八木 千晶

今月のおすすめ料理コーナーに載せてみませんか？

お家で簡単に作れる一品を皆さんに紹介をさせていただきますので、保健福祉課（6-11995）にお知らせください。

It is good that we have lived in Nakatombetsu
and we would like to live there for long.

ー住んでいてよかった これからも住んでいたいー

戸籍だより

3月1日～3月31日受付分

おくやみ

字豊平
(63歳)

石井 雄一さん
3月24日)

うぶごえ

字秋田
(賢吾さんの子)

星川 ^{ここ}心虹ちゃん
2月22日)

やまなみ吟社

三月例会

水温むゆったりと飲む妊み牛

武田 雄峰

水温む日差し味方に洗車する

東海林 海峯

水温むドジョッコフナッコよろこべり

菅原 貞子

杖一つ取れし夢みし水温む

高橋 妙子

人の声こぼれ聞こえて水温む

平田 栄珠

水温む前掛の紐ゆるく締め

山崎 静女

張りつめた心いつしか水温む

高橋 恵翠

国民年金保険料の納付は、口座振替がお得です

国民年金保険料の納付には、口座振替がご利用になれます。

口座振替をご利用されますと、保険料が自動的に引き落とされるので金融機関などに行く手間が省けるうえ、納め忘れもなくとても便利です。

また、口座振替には、当月分保険料を当月末に引き落とさせていただくことにより月々50円割引される早割制度や、割引額がお得になる6ヶ月前納・1年前納もあります。口座振替をご希望の方は、納付書または年金手帳、通帳、金融機関届出印をご持参のうえ、ご希望の金融機関または年金事務所へお申し出ください。

【総務課住民グループ】

編集後記

小学校の卒業式に取材に行った際、小さな頃を知っているこどもが随分と大きくなり、大人っぽくなって驚きました。

こどもの成長ははやいですね。いろいろな事をどんどん吸収して大きくなっていくんですね。僕も負けずに頑張りたいと思います。(tady)

人のうごき

(平成24年3月31日現在)

世帯 936(-4)

人口 1,943(-23)

男 953(-12)

女 990(-11)

()内は前月対比

広報誌なかとんべつ 4月号 Vol. 629

【発行】 2012年4月10日

【編集】 中頓別町総務課住民グループ 〒098-5595 北海道枝幸郡中頓別町字中頓別 172-6 TEL 01634-6-1111 FAX 01634-6-1155
HP <http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp> e-mail: info@town.nakatombetsu.lg.jp

【印刷】 有限会社 天北印刷工業

この広報誌は再生紙を使用しています。